

県における施工パッケージ型積算方式の適用について

[目 次]

- | | | |
|-----------------------------|-----|-----|
| 1. 施工パッケージ型積算方式とは | ・・・ | p 2 |
| 2. 施工パッケージ型積算方式の適用時期と適用工種 | ・・・ | p 3 |
| 3. 県土木部「積算基準及び標準歩掛（土木編）」の改定 | ・・・ | p13 |
| 4. 「施工パッケージ」代価表等 | ・・・ | p14 |
| 5. 「施工パッケージ」積算単価の算出方法 | ・・・ | p15 |
| 6. 「施工パッケージ」標準単価等の掲載場所 | ・・・ | p18 |

令和7年8月

茨城県土木部検査指導課

○国土交通省が平成 24 年 10 月 1 日から試行運用を始めた積算方式
※現在の積算方式は「積上型積算方式」

○施工パッケージ型積算方式の概要 【図表 1】

- ・機械経費、労務費、材料費をパッケージ化して直接工事費を算出
(市場単価のイメージに近いが、地域に合わせた補正計算が必要)
- ・間接費は「積上型積算方式」と同じ

○施工パッケージ型積算方式の適用レベル【図表 2】

- ・施工パッケージは、積算体系ツリー「レベル 4」の一部に設定
※レベル 1 (工事区分：道路改良) などの大項目での設定ではない

The diagram compares two methods of construction cost estimation:

- 積上型積算 (Bottom-up Estimation):**
 - Shows a hierarchical list of construction items from top-level work (鉄筋工) down to specific materials (スライ). A table at the bottom lists items like '鉄筋', '型枠', '目地板', '鉄筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設', '建築', '土木', '舗装', '名称・規格', '数量', '単位', '単価 (円)', '工事区分・工種・種別・細別', '数量', '単位', '舗装', '目地板', '鉄筋工', '鉄筋工', 'ゴムアス', '目地板', 'スライ', and '踏掛板' with a quantity of 50,000 m³.
 - Below the list are boxes for '共通仮設費 (率分)', '共通仮設費 (積上げ分)', '現場管理費', and '一般管理費等'.
 - A callout box states: '工種毎に機材単価を積み上げる。さらに各工種の必要量を計上する。' (Increase unit prices by material type. Also, record the required quantity for each work type.)
- 施工パッケージ型積算方式 (Construction Package Type Estimation Method):**
 - Shows a '標準単価 (踏掛版設置)' (Standard Unit Price (Tread Plate Installation)) box.
 - A green box contains '直接工事費 (機械経費+労務費+材料費)' (Direct Work Cost (Machine Cost + Labor Cost + Material Cost)).
 - Below are boxes for '共通仮設費 (率分)', '共通仮設費 (積上げ分)', '現場管理費', and '一般管理費等'.
 - A callout box states: '間接費の積算は積上積算と共通' (Calculation of indirect costs is common with bottom-up estimation).

A large blue arrow points from the '積上型積算' side to the '施工パッケージ型積算方式' side.

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別
道路改良	道路土工	掘削工	掘削 土砂等運搬 軟弱土等運搬 整地 転石破碎 押土(ルス°) 積込(ルス°) 人力積込
		路体盛土工	路体(築堤)盛土 土砂等運搬 整地 押土(ルス°) 積込(ルス°) 人力積込 土材料

**施工パッケージは、
積算体系ツリー「レベル4」
の一部に設定**

2. 施工パッケージ型積算方式の適用時期と適用工種（R7.8.1以降適用分）

○令和7年8月1日以降に起工する工事から適用

◆県土木部「積算基準及び標準歩掛（土木編）」の改定

⇒「施工パッケージ」導入工種は、県土木部積算基準から積上げ歩掛を削除

◆施工パッケージ用代価表の追加等

○ 9工事区分の主要工種に391 施工パッケージを適用

※国土交通省「R7.4 適用分」を採用

施工パッケージ適用工種一覧(R7.8.1 適用分)

No.	施工パッケージ名称	施工パッケージ型積算基準
001	現場発生品及び支給品運搬	現場発生品及び支給品運搬
002	現場発生品及び支給品積込・荷卸	現場発生品及び支給品運搬
003	押土(ルーズ)	土工
004	積込(ルーズ)	土工
005	床掘り	作業土工
006	掘削補助機械搬入搬出	作業土工
007	基面整正	作業土工
008	掘削	土工
009	土砂等運搬	土工
010	掘削(ICT)	土工
011	転石破碎	土工
012	埋戻し	作業土工
013	クワ 締固め	作業土工
014	路体(築堤)盛土	土工
015	路床盛土	土工
016	土材料	土工
017	残土等処分	土工
018	路体(築堤)盛土(ICT)	土工
019	路床盛土(ICT)	土工
020	整地	土工
021	舗装版破碎積込(小規模土工)	作業土工
022	人力積込	土工
023	人力運搬(積込み～運搬～取卸し)	人力運搬工
024	人力運搬(運搬～取卸し)	人力運搬工
025	安定処理	安定処理工
026	法面整形	法面工
027	法面整形(ICT)	法面工
028	市松芝	法面工
029	吹付法面取壊し	法面工
030	プレキャストコンクリート板	法面工
031	プレキャストコンクリート板(材料費)	法面工

032	ジョイント処理	法面工
033	ジョイント金物(材料費)	法面工
034	人工張芝	法面工
035	基礎碎石	基礎・裏込碎石工
036	裏込碎石	基礎・裏込碎石工
037	石積(練石)(複合)	石積(張)工
038	石張(複合)	石積(張)工
039	石積(張)	石積(張)工
040	石積(張)(材料費)	石積(張)工
041	胴込・裏込コンクリート	石積(張)工
042	裏込材(クラッシュラン)	石積(張)工
043	平石張	石積(張)工
044	平石(材料費)	石積(張)工
045	プレキャスト擁壁設置	プレキャスト擁壁工
046	補強土壁壁面材組立・設置	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
047	補強土壁壁面材(材料費)	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
048	補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
049	補強材(材料費)(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
050	まき出し・敷均し,締固め	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
051	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	補強盛土工
052	ジオテキスタイル壁面材(材料費)	補強盛土工
053	ジオテキスタイル(材料費)	補強盛土工
054	ジオテキスタイル敷設	補強盛土工
055	まき出し・敷均し,締固め	補強盛土工
056	補強材取付(ジオテキスタイル補強土壁二重壁タイプ)	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
057	補強材(材料費)(ジオテキスタイル補強土壁二重壁タイプ)	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
058	碎石投入	補強土壁工(帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁)
059	プレキャスト L 形側溝(製品長 0.6m/個)	排水構造物工
060	暗渠排水管	排水構造物工
061	フィルター材	排水構造物工
062	管(函)渠型側溝	排水構造物工
063	プレキャスト集水桝	排水構造物工
064	プレキャスト集水桝(材料費)	排水構造物工
065	コレクターフリューム	排水構造物工
066	プレキャストマンホール	排水構造物工

067	鉄筋コンクリート台付管	排水構造物工
068	ヒューム管(B形管)	排水構造物工
069	ボックスカルバート	排水構造物工
070	コレクターパイプ	排水構造物工
071	現場打ち集水桝・街渠桝(本体)	排水構造物工
072	サントマット	軟弱地盤処理工
073	削孔(アンカー)	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
074	アンカー鋼材加工・組立・挿入緊張・定着・頭部処理(アンカー)	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
075	グラウト注入(アンカー)	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
076	ボーリングマシン移設(アンカー)	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
077	足場(アンカー)	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
078	アンカー(材料費 1)	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
079	アンカー(材料費 2)	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
080	コンクリートはつり	構造物とりこわし工
081	積込(コンクリート殻)	構造物とりこわし工
082	コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	コンクリート削孔工
083	コンクリート削孔(さく岩機)	コンクリート削孔工
084	コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)	コンクリート削孔工
085	目地板	目地・止水板設置工
086	吸出し防止材設置	吸出し防止材設置工
087	止水板	目地・止水板設置工
088	シール材	目地・止水板設置工
089	シール材(材料費)	目地・止水板設置工
090	高欄撤去	旧橋撤去工
091	アスファルト舗装版破碎・積込み	旧橋撤去工
092	床版 1 次破碎・撤去	旧橋撤去工
093	桁 1 次切断・撤去	旧橋撤去工
094	床版 1 次及び 2 次破碎・撤去	旧橋撤去工
095	桁 1 次及び 2 次切断・撤去	旧橋撤去工
096	アスファルト塊運搬	旧橋撤去工
097	床版運搬	旧橋撤去工
098	じゃかご	かご工
099	止杭打込	かご工
100	ふとんかご	かご工
101	発泡スチロール設置	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
102	発泡スチロール(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
103	緊結金具(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
104	コンクリート床版	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
105	支柱結合アンカー(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
106	支柱設置	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
107	支柱(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
108	壁面材設置	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工

109	壁面材(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
110	裏込砕石(軽量盛土)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
111	壁面付発泡スチロール設置	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
112	壁面材パネ(ガイトピン有り)(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
113	壁面材パネ(ガイトピン無し)(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
114	ガイトピン(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
115	縦目地材(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
116	横目地材(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
117	L形ピン(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
118	I形ピン(材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
119	現場取卸(鋼桁,門扉)	現場取卸工
120	現場取卸(鋼管杭)	現場取卸工
121	函渠	函渠工
122	コンクリート(場所打函渠)	函渠工
123	間知ブロック張	コンクリートブロック積(張)工
124	平ブロック張	コンクリートブロック積(張)工
125	連節ブロック張	コンクリートブロック積(張)工
126	緑化ブロック積	コンクリートブロック積(張)工
127	緑化ブロック(材料費)	コンクリートブロック積(張)工
128	天端ブロック(材料費)	コンクリートブロック積(張)工
129	間知ブロック積	コンクリートブロック積(張)工
130	胴込・裏込コンクリート	コンクリートブロック積(張)工
131	胴込・裏込材(砕石)	コンクリートブロック積(張)工
132	遮水シート張	コンクリートブロック積(張)工
133	吸出し防止材(全面)設置	コンクリートブロック積(張)工
134	植樹	コンクリートブロック積(張)工
135	現場打基礎コンクリート	コンクリートブロック積(張)工
136	現場打天端コンクリート	コンクリートブロック積(張)工
137	現場打小口止コンクリート	コンクリートブロック積(張)工
138	現場打横帯(隔壁)コンクリート	コンクリートブロック積(張)工
139	プレキャスト基礎ブロック	コンクリートブロック積(張)工
140	プレキャスト基礎ブロック(材料費)	コンクリートブロック積(張)工
141	大型ブロック積	コンクリートブロック積(張)工
142	大型ブロック(材料費)	コンクリートブロック積(張)工
143	プレキャスト小口止ブロック	コンクリートブロック積(張)工
144	プレキャスト小口止ブロック(材料費)	コンクリートブロック積(張)工
145	プレキャスト横帯(隔壁)ブロック	コンクリートブロック積(張)工
146	プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)	コンクリートブロック積(張)工
147	プレキャスト巻止ブロック	コンクリートブロック積(張)工
148	プレキャスト巻止ブロック(材料費)	コンクリートブロック積(張)工
149	小型擁壁	場所打擁壁工
150	重力式擁壁	場所打擁壁工
151	もたれ式擁壁	場所打擁壁工

152	逆 T 型擁壁	場所打擁壁工
153	L 型擁壁	場所打擁壁工
154	化粧型枠	型枠工
155	化粧型枠(材料費)	型枠工
156	ペーラインコンクリート(材料費)	場所打擁壁工
157	コンクリート(場所打擁壁)	場所打擁壁工
158	殻運搬	殻運搬
159	コンクリート打設(深礎工)	深礎工
160	コンクリート	コンクリート工
161	モルタル練	コンクリート工
162	型枠	型枠工
163	撤去しない埋設型枠(材料費)	型枠工
164	型枠(鉄筋構造)〔省力化構造〕	型枠工
165	消波根固めブロック製作	消波根固めブロック工
166	消波根固めブロック運搬	消波根固めブロック工
167	消波根固めブロック据付け	消波根固めブロック工
168	消波根固めブロック横取り	消波根固めブロック工
169	消波根固めブロック積込み	消波根固めブロック工
170	消波根固めブロック荷卸	消波根固めブロック工
171	根固めブロック撤去	消波根固めブロック工
172	捨石	捨石工
173	捨石(材料費)	捨石工
174	表面均し	捨石工
175	除草	堤防除草工
176	集草	堤防除草工
177	積込・荷卸	堤防除草工
178	運搬(堤防除草)	堤防除草工
179	除草,集草(人力),梱包積込・荷卸(総合)	堤防除草工
180	除草,集草(機械),梱包積込・荷卸(総合)	堤防除草工
181	梱包	堤防除草工
182	施肥	堤防芝養生工
183	拔根	堤防芝養生工
184	伐木・伐竹(伐木除根)	伐木除根工
185	除根(伐木除根)	伐木除根工
186	整地(伐木除根)	伐木除根工
187	集積(人力施工)(伐木除根)	伐木除根工
188	集積積込み(機械施工)(伐木除根)	伐木除根工
189	積込み(人力施工)(伐木除根)	伐木除根工
190	運搬(伐木除根)	伐木除根工
191	伐木・伐竹(複合)	伐木除根工
192	散在塵芥収集	塵芥処理工
193	堆積塵芥収集(機械処理)	塵芥処理工
194	堆積塵芥収集(人力処理)	塵芥処理工

195	注入	ボーリンググラウト工
196	削孔	ボーリンググラウト工
197	注入設備据付・解体	ボーリンググラウト工
198	河床等掘削	機械土工（河床等掘削）
199	軟弱土等運搬	機械土工（河床等掘削）
200	河床等掘削(ICT)	機械土工（河床等掘削）
201	軟弱土等運搬(ICT)	機械土工（河床等掘削）
202	巨石張(練)	多自然護岸工
203	巨石張(空)	多自然護岸工
204	巨石積(練)	多自然護岸工
205	巨石採取	多自然護岸工
206	巨石(材料費)	多自然護岸工
207	木杭打	多自然護岸工
208	中詰コンクリート打設	護岸基礎ブロック工
209	護岸基礎ブロック据付	護岸基礎ブロック工
210	プレキャスト基礎ブロック(材料費)	護岸基礎ブロック工
211	かごマット設置(スロープ型)	かごマット工
212	袋詰玉石	袋詰玉石工
213	沈下板設置・グラウト管設置	グラウトホール工
214	グラウト管(材料費)	グラウトホール工
215	均しコンクリート箱抜用型枠設置撤去間詰コンクリート打設	グラウトホール工
216	笠コンクリートブロック	笠コンクリートブロック据付工
217	笠コンクリートブロック(材料費)	笠コンクリートブロック据付工
218	積込(ルーズ)(砂防)	土工
219	土砂等運搬(砂防)	土工
220	掘削(砂防)	土工
221	掘削(砂防)(ICT)	土工
222	ボーリング	地すべり防止工
223	保孔管	地すべり防止工
224	ボーリング仮設機材	地すべり防止工
225	足場(地表)	地すべり防止工
226	不陸整正	路盤工
227	下層路盤(車道・路肩部)	路盤工
228	下層路盤(歩道部)	路盤工
229	上層路盤(車道・路肩部)	路盤工
230	上層路盤(歩道部)	路盤工
231	不陸整正(ICT)	路盤工
232	下層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤工
233	上層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤工
234	基層(車道・路肩部)	アスファルト舗装工
235	基層(歩道部)	アスファルト舗装工
236	中間層(車道・路肩部)	アスファルト舗装工

237	中間層(歩道部)	アスファルト舗装工
238	表層(車道・路肩部)	アスファルト舗装工
239	表層(歩道部)	アスファルト舗装工
240	アスカーフ	アスファルト舗装工
241	セメントミルク浸透	アスファルト舗装工
242	排水性舗装・表層(車道・路肩部)	排水性舗装工
243	フィルター層	排水性舗装工
244	透水性アスファルト舗装	排水性舗装工
245	踏掛版設置	踏掛版設置工
246	基礎ブロック,鋼管基礎	防護柵設置工
247	支柱(立入防止柵)	防護柵設置工
248	支柱(立入防止柵)(材料費)	防護柵設置工
249	金網・支柱(立入防止柵)	防護柵設置工
250	金網・支柱(立入防止柵)(材料費)	防護柵設置工
251	門扉	防護柵設置工
252	門扉(材料費)	防護柵設置工
253	箱抜き	防護柵設置工
254	車止めポスト設置	防護柵設置工
255	落下物等防止柵	防護柵設置工
256	落下物等防止柵(材料費)	防護柵設置工
257	支柱(材料費)	しゃ音壁設置工
258	支柱アンカー	しゃ音壁設置工
259	支柱アンカー(材料費)	しゃ音壁設置工
260	支柱建込	しゃ音壁設置工
261	しゃ音板・透光板取付	しゃ音壁設置工
262	しゃ音板・透光板(材料費)	しゃ音壁設置工
263	笠木取付	しゃ音壁設置工
264	笠木(材料費)	しゃ音壁設置工
265	水切板取付	しゃ音壁設置工
266	水切板(材料費)	しゃ音壁設置工
267	外装板取付	しゃ音壁設置工
268	外装板(材料費)	しゃ音壁設置工
269	土留板取付	しゃ音壁設置工
270	土留板(材料費)	しゃ音壁設置工
271	落下防止索(材料費)	しゃ音壁設置工
272	下段パネル(材料費)	しゃ音壁設置工
273	歩車道境界ブロック	路側工
274	地先境界ブロック	路側工
275	特殊ブロック舗装	特殊ブロック設置工
276	歩車道境界ブロック撤去	路側工
277	地先境界ブロック撤去	路側工
278	排水柵	橋梁付属施設設置工
279	排水柵 A(材料費)	橋梁付属施設設置工

280	橋名板等取付	橋梁付属施設設置工
281	橋梁用高欄	橋梁付属施設設置工
282	橋梁用高欄一体式(材料費)	橋梁付属施設設置工
283	距離標	道路付属物設置工
284	距離標(材料費)	道路付属物設置工
285	路面切削	路面切削工
286	殻運搬(路面切削)	路面切削工
287	舗装版破碎	舗装版破碎工
288	舗装版切断	舗装版切断工
289	クラック補修	舗装版クラック補修工
290	注入材(材料費)	舗装版クラック補修工
291	クラック防止シート張	舗装版クラック補修工
292	クラック防止シート(材料費)	舗装版クラック補修工
293	素地調整	道路付属構造物塗替工
294	付属構造物塗替	道路付属構造物塗替工
295	張紙防止塗装	張紙防止塗装工
296	張紙防止塗装(材料費)	張紙防止塗装工
297	鋼板(材料費)	橋梁補強工
298	鋼板巻立て	橋梁補強工
299	シール材(材料費)	橋梁補強工
300	注入材(材料費)	橋梁補強工
301	現場溶接	橋梁補強工
302	フーチングアンカー削孔・定着	橋梁補強工
303	アンカー材(材料費)	橋梁補強工
304	アンカー注入材(材料費)	橋梁補強工
305	スタットシール(材料費)	橋梁補強工
306	鋼板取付	橋梁補強工
307	シール材(材料費)	橋梁補強工
308	注入材(材料費)	橋梁補強工
309	とりこわし	橋梁補修工
310	鉄筋	橋梁補修工
311	コンクリート	橋梁補修工
312	足場・防護	橋梁補修工
313	支承取替(鋼橋)	橋梁補修工
314	支承(材料費)	橋梁補修工
315	桁付ブラケット(材料費)	橋梁補修工
316	支承取替(PC 橋)	橋梁補修工
317	足場	橋梁補修工
318	杓座コンクリートはつり(支承直下部以外)	橋梁補修工
319	下部工ブラケット取付	橋梁補修工
320	下部工ブラケット(材料費)	橋梁補修工
321	現場孔明(鋼構造物)	落橋防止装置工
322	現場溶接鋼桁補強	橋梁補修工

323	除草	道路除草工
324	集草	道路除草工
325	積込運搬	道路除草工
326	機械除草(肩掛式)・集草・積込運搬	道路除草工
327	機械除草(ハットガイト式)・集草積込運搬	道路除草工
328	機械除草(肩掛式)・集草	道路除草工
329	機械除草(ハットガイト式)・集草	道路除草工
330	路面清掃(路肩部・人力)	道路清掃工
331	路面清掃(歩道等・人力)	道路清掃工
332	側溝清掃(人力清掃工)	排水構造物清掃工
333	桝清掃(人力清掃工)	排水構造物清掃工
334	面導水	トンネル漏水対策工
335	面導水(材料費)	トンネル漏水対策工
336	線導水	トンネル漏水対策工
337	線導水(材料費)	トンネル漏水対策工
338	チッピング(厚 2cm 以下)	沓座拡張工
339	アンカー筋挿入(コンクリート沓座拡張)	沓座拡張工
340	アンカー筋(コンクリート沓座拡張)(材料費)	沓座拡張工
341	注入材(材料費)	沓座拡張工
342	鉄筋(沓座拡張工)	沓座拡張工
343	型枠(沓座拡張工)	沓座拡張工
344	コンクリート(沓座拡張工)	沓座拡張工
345	コンクリート削孔	橋梁補強工
346	コンクリート巻立て	橋梁補強工
347	足場(適用範囲外コンクリート巻立て工)	橋梁補強工
348	下地処理(適用範囲外コンクリート巻立て工)	橋梁補強工
349	型枠(適用範囲外コンクリート巻立て工)	橋梁補強工
350	コンクリート(適用範囲外コンクリート巻立て工)	橋梁補強工
351	コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン)	落橋防止装置工
352	コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	落橋防止装置工
353	コンクリート削孔(さく岩機[ハットドリル(空圧式)])	落橋防止装置工
354	アンカー	落橋防止装置工
355	アンカー材(材料費)	落橋防止装置工
356	注入材(材料費)	落橋防止装置工
357	充填補修	落橋防止装置工
358	補修材(材料費)	落橋防止装置工
359	床掘り(電線共同溝工)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
360	埋戻し・締固め(電線共同溝工)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
361	管路材設置	電線共同溝工 (C・C・BOX)
362	プレキャストボックスブロック設置	電線共同溝工 (C・C・BOX)
363	蓋設置	電線共同溝工 (C・C・BOX)
364	蓋(材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
365	受金具(材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)

366	軽量鋼矢板設置・撤去	電線共同溝工 (C・C・BOX)
367	覆工板設置・撤去	電線共同溝工 (C・C・BOX)
368	舗装版破碎積込(電線共同溝工)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
369	運搬(電線共同溝工)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
370	支持金具(材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
371	管路受台(スパーサ)(材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
372	床掘り(情報ボックス工)	情報ボックス工
373	埋戻し(情報ボックス工)	情報ボックス工
374	中埋材(材料費)	情報ボックス工
375	埋設部管路材設置	情報ボックス工
376	露出部管路材設置	情報ボックス工
377	スリーブ(材料費)	情報ボックス工
378	伸縮継手(材料費)	情報ボックス工
379	ハントホール	情報ボックス工
380	ハントホール蓋(材料費)	情報ボックス工
381	ハントホール固定板(材料費)	情報ボックス工
382	支持金具(材料費)	情報ボックス工
383	舗装版破碎(情報ボックス工)	情報ボックス工
384	埋設表示シート(材料費)	情報ボックス工
385	基礎材	情報ボックス工
386	型枠(鋼橋床版)	鋼橋床版工
387	養生(鋼橋床版)	鋼橋床版工
388	養生マット(材料費)	鋼橋床版工
389	コンクリートアンカーボルト設置	橋梁排水管設置工
390	排水管設置	橋梁排水管設置工
391	排水管(材料費)	橋梁排水管設置工

3. 県土木部「積算基準及び標準歩掛（土木編）」の改定

○国土交通省「令和7年度 土木工事標準積算基準書」に準拠して改定

◆「施工パッケージ」導入工種は、県土木部積算基準から積上げ歩掛を削除

〔参考〕施工パッケージ型積算基準は、国交省 HP で公表されている。

国土交通省技術調査課 HP <https://www.mlit.go.jp/tec/koujisekisan.html>

(1)「施工パッケージ積算基準」記載例

【国土交通省技術調査課HPより】

(資料名:施工パッケージ型積算基準)

3-1 基礎砕石

(1) 条件区分は次表を標準とする。

表3.1 基礎砕石 積算条件区分一覧

(積算単位:m2)

砕石の厚さ	砕石の種類
2.5cm 以上 7.5cm 以下	(表3.2)
7.5cm 超 12.5cm 以下	
12.5cm 超 17.5cm 以下	
17.5cm 超 20.0cm 以下	
20.0cm 超 22.5cm 以下	
22.5cm 超 27.5cm 以下	
27.5cm 超 30.0cm 以下	

表3.2 砕石の種類

積算条件	区分
砕石の種類	クラッシャーラン 40~0
	クラッシャーラン 30~0
	クラッシャーラン 20~0
	高炉スラグ CS~40
	高炉スラグ MS~25
	高炉スラグ HMS~25
	クラッシャーラン 80~0
	再生クラッシャーラン 40~0
	再生クラッシャーラン 80~0
	砕石(各種)

(注) 1. 上表は基礎砕石工における材料の投入、敷均し、締固めおよび 20m 程度の現場内小運搬等、その施工に

必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 砕石の材料使用量のロスを含む。

3. 基礎砕石の敷均し厚は 30cm を上限とする。

4. 現場発生材を使用する場合は、「3-5 採取小割」を別途計上する。

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.3 基礎砕石 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 バックホウ[クローラ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料
	K 2 —	
	K 3 —	
労務	R 1 普通作業員	
	R 2 特殊作業員	
	R 3 土木一般世話役	
	R 4 特殊運転手	
材料	Z 1 再生クラッシャーラン RC-40	
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 3 —	
	Z 4 —	
市場単価	S —	

※【従来の積上型の積算基準】 ⇒ 削除

(1) 基礎砕石工 100 m2 当り単価表

		施工歩掛コード		WB221110
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.6×100／D	表 4.1, 表 4.2
特 殊 作 業 員		〃	1.1×100／D	〃
普 通 作 業 員		〃	2.9×100／D	〃
砕 石		m ³	100×厚さ(m)× (1+ロス率)	表 4.3
バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）	日	1×100／D	表 3.1, 表 4.2
諸 雑 費		式	1	表 4.4
計				

(注) D: 日当り施工量

【県土木部積算基準より】

4. 「施工パッケージ」代価表等

◆標準単価（東京標準単価）から積算単価（茨城県単価）への補正計算に必要な項目で構成

第 0004 号 代価表 基礎砕石		施工P(機5.77%, 労80.92%, 材13.31%, 市0.00%)			
第	号	構成比	単位	東京単価	地区単価
名称					摘要
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平0.6m3)		5.730	%		K1
普通作業員		41.180	%	東京単価 基準年月 (R6.4)	R1
特殊作業員		18.690	%		R2
土木一般世話役		10.830	%		R3
特殊運転手		9.660	%		R4
高炉スラグ クラッシャーラン 40-0		9.200	%		Z1
軽油 1.2号		4.090	%		Z2
				(標準単価 積算単価)	
条件名称		入力値		入力名称	
J O 1	砕石の厚さ	1		2.5cm以上7.5cm以下	
J O 2	砕石の種類	4		高炉スラグ CS~40	

◆本工事内訳書の表示【変更】

本 工 事 費 内 訳 書							
第	号	実施 起工 設計書					
工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単 位	単 価
道路改良							
擁壁工							
場所打擁壁工							
基礎材					200.000	m2	
基礎砕石					100.000	m2	
基礎砕石(登録代価)					100.000	m 2	
コンクリート					100.000	m3	
擁壁工コンクリート打設					100.000	m3	
直接工事費計							

◆機労材集計リスト（材料）に関する留意事項

◆施工パッケージ適用工種の材料は、機労材集計リストは参考扱いで計上

- ・施工パッケージ単価一覧表にて、使用材料を確認の上、材料使用届を提出下さい。
- ・使用数量については、設計図書（図面・数量計算書等）により個別に集計下さい。

（「金抜き」表示例）

機 労 材 集 計 リ ス ト （ 材 料 ） [施工P分]					
第	号	実施 起 工 設計書			
単価コード	名 称 / 規 格	数 量	単 位	金 額	摘 要
Y001102000	再生アスファルト混合物 再生改質AsⅡ型 密粒アスコン(20)	148.454	t		20160601
Z002012001	生コンクリート W/C指定無 18-8-25(20) 高炉	10.142	m ³		20160601

【注】施工Pの材料は(参考扱い)

5.「施工パッケージ」積算単価の算出方法

○標準単価（東京標準単価）から積算単価（茨城県単価）に補正

（１）補正式（イメージ）

$$\begin{aligned}
 & \text{茨城積算単価} = \text{東京標準単価 (R6.4)} \times \left[K \times \frac{\text{茨城機械単価 (R7.9)}}{\text{東京機械単価 (R6.4)}} + R \times \frac{\text{茨城労務単価 (R7.9)}}{\text{東京労務単価 (R6.4)}} + Z \times \frac{\text{茨城材料単価 (R7.9)}}{\text{東京材料単価 (R6.4)}} \right] \\
 & \text{茨城単価の基準年月(単価適用日)} \\
 & \text{東京単価の基準年月(R6.4)}
 \end{aligned}$$

(例)茨城積算単価(R7.9)の場合 (9月に積算する場合)
 K: 標準単価に占める機械費の構成割合
 R: 標準単価に占める労務費の構成割合
 Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

【用語の定義】

【国総研資料より】

名称	定義・解説
標準単価 ※	・東京地区(東京17区)における基準年月の標準的な単価 ・令和7年度の基準年月は令和6年4月
積算単価	・工事地区、発注時期に応じて標準単価を補正して算出する単価 ・補正により算出可能であるため非公表
補正式 ※	・積算単価算出の際に使用する補正式 (標準単価、機労材構成比、機労材単価を用いて算出)
代表機労材規格 ※	・標準単価を設定した際に想定した代表的な機械・労務・材料規格 ・機械3機種、労務4職種、材料4規格、市場単価1規格
機労材構成比 ※	・標準単価毎に設定された代表機労材規格毎の金額構成比率

(2) 標準単価から積算単価への補正式

施工パッケージ型積算方式で用いる、標準単価(P)から積算単価(P')への補正式は以下の通り。

$$\begin{aligned} \ll \text{補正式} \gg \quad P' = P \times & \left\{ \left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \cdots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right) \times \frac{Kr}{K1r + \cdots + K3r} \right. \\ & + \left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \cdots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right) \times \frac{Rr}{R1r + \cdots + R4r} \\ & + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \cdots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + \cdots + Z4r} + \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} \\ & \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100} \right\} \end{aligned}$$

機械: 3機種
労務: 4職種
材料: 4規格
市場単価: 1規格

P': 積算単価(積算地区、積算年月)

P: 標準単価(東京地区、基準年月)

Kr: 標準単価における全機械(K1~K3,他)の構成比合計

K1r~K3r: 標準単価における代表機械規格K1~3の構成比

K1t~K3t: 代表機械規格K1~3の単価(東京地区、基準年月)

K1t'~K3t': 代表機械規格K1~3の単価(積算地区、積算年月)

Rr: 標準単価における全労務(R1~R4,他)の構成比合計

R1r~R4r: 標準単価における代表労務規格R1~4の構成比

R1t~R4t: 代表労務規格R1~4の単価(東京地区、基準年月)

R1t'~R4t': 代表労務規格R1~4の単価(積算地区、積算年月)

Zr: 標準単価における全材料(Z1~Z4,他)の構成比合計

Z1r~Z4r: 標準単価における代表材料規格Z1~4の構成比

Z1t~Z4t: 代表材料規格Z1~4の単価(東京地区、基準年月)

Z1t'~Z4t': 代表材料規格Z1~4の単価(積算地区、積算年月)

Sr: 標準単価における市場単価Sの構成比

St: 市場単価Sの所与条件における単価(東京地区、基準年月)

St': 市場単価Sの所与条件における単価(積算地区、積算年月)

※計算例については、国総研HP「施工パッケージ型積算方式標準単価表(PDF版)(解説付き) II. 標準単価から積算単価への補正方法」を参照のこと。

(K : 機械経費、R : 労務費、Z : 材料費、S : 市場単価、K1~K3,R1~R4,Z1~Z4,S : 代表的な規格
r : 機労材構成比、t : 東京単価、t' : 地区単価(茨城単価))

(3) 計算例

(3) 計算例

			r 構成比	t 東京単価	t' 地区単価	
基礎碎石 代表機労材規格・構成比						
		規格	構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)	
K:機械	K		5.770			
		K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	5.730	10,000	10,000
		K2	—	—	—	
		K3	—	—	—	
R:労務	R		80.920			
		R1	普通作業員	41.180	19,000	18,000
		R2	特殊作業員	18.690	21,000	19,500
		R3	土木一般世話役	10.830	23,000	22,000
		R4	特殊運転手	9.660	21,000	21,500
Z:材料	Z		13.310			
		Z1	再生クラシャラン RC-40	9.200	2,000	1,800
		Z2	軽油1号, 2号	4.090	110	170
		Z3	—	—	—	
		Z4	—	—	—	
※ 標準単価、機械・労務・材料単価は仮想単価				標準単価	790.11	



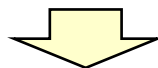
$$\begin{aligned} \text{茨城} &= \\ \text{積算単価} &= \\ \text{東京} &\times \left[\frac{K1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{K}{K1} \quad \text{機械単価} \\ &+ \left[\frac{R1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R3}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R4}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{R}{R1+R2+R3+R4} \quad \text{労務単価} \\ &+ \left[\frac{Z1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{Z2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{Z}{Z1+Z2} \quad \text{材料単価} \end{aligned}$$

基礎砕石 代表機労材規格・構成比

	規格	構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)
K		5.770		
	K1 バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	5.730	10,000	10,000
	K2 -	-	-	-
	K3 -	-	-	-
R		80.920		
	R1 普通作業員	41.180	19,000	18,000
	R2 特殊作業員	18.690	21,000	19,500
	R3 土木一般世話役	10.830	23,000	22,000
	R4 特殊運転手	9.660	21,000	21,500
Z		13.310		
	Z1 再生クラッシャーラン RC-40	9.200	2,000	1,800
	Z2 軽油1号, 2号	4.090	110	170
	Z3 -	-	-	-
	Z4 -	-	-	-

※ 標準単価, 機械・労務・材料単価は仮想単価

標準単価 790.11



$$\begin{aligned}
 \text{茨城積算単価} = & \text{東京標準単価} \times \left\{ \left[\frac{5.73}{100} \times \frac{10,000}{10,000} \right] \times \frac{5.77}{5.73} \right. \\
 & + \left[\frac{41.2}{100} \times \frac{18,000}{19,000} + \frac{18.69}{100} \times \frac{19,500}{21,000} + \frac{10.83}{100} \times \frac{22,000}{23,000} + \frac{9.66}{100} \times \frac{21,500}{21,000} \right] \times \frac{80.92}{41.18+18.69+10.83+9.66} \\
 & \left. + \left[\frac{9.20}{100} \times \frac{1,800}{2,000} + \frac{4.09}{100} \times \frac{170}{110} \right] \times \frac{13.31}{9.20+4.09} \right\}
 \end{aligned}$$

機械単価
労務単価
材料単価

(4) 端数処理について (県の場合)

$$\begin{aligned}
 \text{茨城積算単価} = & \text{東京標準単価} \times \left\{ \left[\frac{K1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{K}{K1} \right. \\
 & + \left[\frac{R1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R3}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R4}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{R}{R1+R2+R3+R4} \\
 & \left. + \left[\frac{Z1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{Z2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{Z}{Z1+Z2} \right\}
 \end{aligned}$$

機械単価
労務単価
材料単価

二重線囲み部分 → 小数5位止め (小数6位四捨五入)

積算単価 → 有効桁数4桁止め (5桁目以降切り上げ)、小数点以下切捨て

例 積算単価 (端数処理前): 275.43251

① 有効数字4桁、5桁目以降切り上げ : 275.5

② 小数点以下切捨て : 275

6. 「施工パッケージ」標準単価等の掲載場所

(1) 標準単価等の掲載場所

茨城積算単価				
$= \boxed{\text{東京標準単価}} \times \left[K \times \frac{\text{茨城機械単価}}{\text{東京機械単価}} + R \times \frac{\text{茨城労務単価}}{\text{東京労務単価}} + Z \times \frac{\text{茨城材料単価}}{\text{東京材料単価}} \right]$				
K: 標準単価に占める機械費の構成割合 R: 標準単価に占める労務費の構成割合 Z: 標準単価に占める材料費の構成割合				
基礎砕石 代表機労材規格・構成比				
	規格	構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)
K	K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	5.770	10.000
	K2	—	—	—
	K3	—	—	—
			80.920	
R	R1	普通作業員	41.180	19.000
	R2	特殊作業員	18.690	21.000
	R3	土木一般世話役	10.830	23.000
	R4	特殊運転手	9.660	21.500
			13.310	
Z	Z1	再生クラッシャーラン RC-40	9.200	2.000
	Z2	軽油1号, 2号	4.090	110
	Z3	—	—	—
※機械単価、労務単価、材料価格は仮想単価				

◆施工パッケージ型積算方式標準単価表

国交省国土技術政策総合研究所HP

(http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm)

『施工パッケージ型積算方式標準単価表』を適用

(記載例)

【国総研資料より】

施工パッケージごとに、標準単価、機労材構成比、代表機労材規格を公表。

【L型擁壁の一例】

【主作業】

条件区分						機労材構成比															
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	標準単価	K			R				Z				S			
							K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4				
24-12-25(20) (高圧)	0.08t/m3以上 上0.10t/m3未満	有り	有り	一般養生	延長無し	55,816	1.70	1.13	-	49.23	15.46	8.85	3.98	2.93	38.59	26.86	11.45	0.19	10.48		
						標準単価	機械構成比率			労務構成比率				材料構成比率				市場単価構成比率			
24-12-25(20) (高圧)	0.08t/m3以上 上0.10t/m3未満	有り	有り	特殊養生(縦張・シールド等)	延長無し	56,511	1.64	1.12	-	49.91	17.34	8.74	3.93	2.89	38.10	26.53	11.31	0.18	10.35		
24-12-25(20) (高圧)	0.08t/m3以上 上0.10t/m3未満	有り	有り	仮囲い内シールド養生	延長無し	50,809	2.27	1.24	0.31	0.21	42.22	15.40	9.72	3.40	0.96	44.00	29.58	12.58	1.25	0.51	11.51

代表機労材規格

K (4印: 資料)						R															Z				S		
K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S																
コンクリートポンプ車【トラック型・ブーム式】 圧送能力90~110m ³ /h	-	-	普通作業員	型わく工	土木一般世話役	とび工	生コンクリート 高圧 24-12-25(20) W/C 5.5%	鉄筋コンクリート用棒鋼SD345 D25	軽油 バトロール給油	-	鉄筋工・加工・組立共 一般構造物																
コンクリートポンプ車【トラック型・ブーム式】 圧送能力90~110m ³ /h	-	-	-	-	-	-	生コンクリート 高圧 24-12-25(20) W/C 5.5%	鉄筋コンクリート	軽油	-	鉄筋工・加工・組立共 一般構造物																
コンクリートポンプ車【トラック型・ブーム式】 圧送能力90~110m ³ /h	業務用可搬型ヒータ 【ジェットヒータ】 【油断き・熱風・直火型】 熱出力 12.6MJ/h (30.1 0.0kcal/h) 消費 灯油	電動発電機【ディーゼルエンジン駆動】 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA																									

機労材構成比 K1~K3、R1~R4、Z1~Z4の合計が、K、R、Zと一致しない場合もあるが、標準単価には代表機労材規格に示していない費用も含んでいる。

※標準単価、機労材構成比は仮の値とする。

◆【条件区分】施工パッケージ型積算基準に定められた積算条件区分

◆【標準単価】東京地区(東京17区)における基準年月(R6.4)の施工単位当たりの単価(円)

◆【機労材構成比】機械経費(K)、労務費(R)、材料費(Z)、市場単価(S)の金額構成比率

※K、R、Zは機械経費、労務費、材料費それぞれの合計金額構成比率

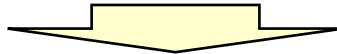
※K1~K3、R1~R4、Z1~Z4、Sは各代表的な規格の金額構成比率

◆【代表機労材規格】代表的な規格の金額構成比率を示した機械経費、労務費、材料費、市場単価の具体的な規格名称

(2) 代表機材規格の基準単価（東京単価【基準日 R6.4】）

基礎碎石 代表機材規格・構成比				
	規格	構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)
K	K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	5.770	5.730
	K2	—	—	—
	K3	—	—	—
			80.920	
R	R1	普通作業員	41.180	19.000
	R2	特殊作業員	18.690	21.000
	R3	土木一般世話役	10.830	23.000
	R4	特殊運転手	9.660	21.000
Z	Z1	再生クラッシャー RC-40	13.310	9.200
	Z2	軽油1号, 2号	9.200	2.000
	Z3	—	4.090	1.10
			—	—

※機械単価、労務単価、材料価格は仮想単価



①材料・機械の基準単価（東京単価【基準日 R6.4】）

- ◆国総研『代表材料規格等の基準単価作成方法について』を適用
国交省国土技術政策総合研究所HP
(http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm)

(掲載内容抜粋)

- ・基準材料単価は、「建設物価」「積算資料」等（令和6年4月号または春号）の東京地区単価の平均値
※一方の物価資料にしか掲載のないものについては、その単価を採用
※両方の物価資料に掲載のないものについては、関東地方整備局の特別調査結果等を採用（上記国総研資料に掲載）
※ロットに応じた単価が設定されている場合には、原則としてロットが最大の単価を使用
- ・賃料は、長期割引後の単価を使用

★上記単価は以下に掲載されている。

- （一財）建設物価調査会 HP <https://www.kensetu-bukka.or.jp/trendtopics/sekopa/>
『R7.04 適用（建設物価・令和6年4月号）』
- （一財）経済調査会 HP https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/construction_package/
『代表機材規格一覧 R07.4 月適用分』

★平均値の有効桁 → 有効桁の大きい方の桁を採用（有効桁3桁未満のときは3桁）

- (例1) 単価の有効桁数の大きい方を有効桁とする場合
建設物価 33,500 円（有効桁3桁） 積算資料 34,000 円（有効桁2桁）
平均額 33,750 円 → 決定額 33,700 円（有効桁3桁、4桁以降切り捨て）
- (例2) 単価の有効桁数が3桁未満のために3桁を有効桁とする場合
建設物価 560 円（有効桁2桁） 積算資料 570 円（有効桁2桁）
平均額 565 円 → 決定額 565 円（有効桁3桁、4桁以降切り捨て）
- ※上記により算出した決定額に標準数量（舗装厚等）を乗じる場合は、小数点以下を切り捨てた値を用いることとする。

- ・機械損料は、「令和6年度建設機械等損料算定表（国土交通省）」の供用日当たり換算値損料（15欄）を使用

- ※令和6年度 建設機械等損料算定表（国土交通省）と同じ内容の出版物として、
以下がありますので、こちらを参考としても結構です。
- ・日本建設機械施工協会発行「令和6年度版 建設機械等損料表」
 - ・茨城県土木部発行「請負工事機械経費積算基準」（令和6年8月）

②労務の基準単価（東京単価【基準日 R6.4】）

- ◆国交省「令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価」の東京都単価を採用
国交省HP「令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価について」
https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00204.html

(3) 機労材の基準単価（茨城県単価【適用日】）

従前のとおり（「土木工事等建設資材単価表」及び「公共工事設計労務単価表」）
【各種情報の掲載箇所（まとめ）】

(1) 国総研（国土交通省国土技術政策総合研究所）HP

https://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm

- 施工パッケージ型積算方式標準単価表
- 代表材料規格の基準単価作成方法について
- 施工パッケージ型積算方式について

(2) 国土交通省技術調査課 HP

<https://www.mlit.go.jp/tec/koujisekisan.html>

- 施工パッケージ型積算

(3) (一財) 建設物価調査会 HP

<https://www.kensetu-bukka.or.jp/trendtopics/sekopa/>

- 補正に用いる基準材料ベース単価（機械賃料、労務、材料、市場単価…東京単価）

(4) (一財) 経済調査会 HP

https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/construction_package/

- 代表機労材規格一覧R07.4月適用分

【県検査指導課 HP】

<https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/kensa/kanri/sekop/sekop.html>

